

心臓血管カテーテル治療体験日誌

武田 秀雄

前年の春ごろから、少し歩くと喉の奥が締め付けられるような症状が時々あった。近くの内科医院で心電図をとってもらっても異常はみられない。しかし、念のために24時間の記録ができるで、デジタルホルター心電計を装着して調べてみた。

その結果、波形のところどころに異常がみられ、狭心症の疑いがあると診断された。急遽、心臓冠動脈血管の精密検査を受けることにした。

8月15日 心臓血管精密検査

お盆のさなか、内科医に紹介状を書いてもらい心電計分析資料を持って札幌市内の心臓血管専門病院を訪れた。精密検査を受けることになる。



検査は、血圧・採血・心電図・動脈硬化・エコー検査・256マルチスライスCT検査などで、およそ4時間かかった。

結果は、心臓血管の左右すべてに狭窄があり、血管が詰まって血流が悪くなっているとのことだった。

8月16日 入院 心臓右冠動脈カテーテル治療

1泊2日の入院である。

この日は、朝9時から受付のあと病室に入り、着替えてカテーテル治療室に入った。

治療台に仰向けに寝ると、ベルトで体が動かないように固定される。

カテーテルは右手首の血管から挿入されたが、麻酔はこの部分のみの局部だ。胸と足首にポリグラフの電極が付けられ、いよいよカテーテル治療が始まった。

「これからカテーテルが入ります。大丈夫ですか？」

局部麻酔なので執刀医師や看護師の言葉はよく聞こえて会話もできる。

造影剤を別の血管から注入して、大きなモニター画像を見ながらカテーテル治療が進行する。「カシャカシャ カタカタ」最新の冠動脈造影装置やCアームX線撮影などの操作音が聞こえている。

どれくらい時間が経過しただろう。

「かなり難しい状況なので、このままカテーテル治療ができるか、開胸して手術するか、ギリギリなんだよね・・・」「いまスタッフで検討してますから・・・」と言われて一時中断。ちょっと不安な気持ちになる。

しばらくして「やはり、このままカテーテルでやります」と。内心、ホッとする。

右冠動脈のカテーテル治療は、このあとバルーン治療、ステント留置など一連の作業があり治療は終了した。この間、90分ほどかかったが、とても長く感じた。

ヤレヤレという気持で病室に戻る。

安静にして6時間の点滴を受けると、その後は起き上がってテレビも観られる。



翌朝は、まずブリーフィングである。

6時半から面談室で、患者本人と家族が理事長から治療結果の説明を受けた。心臓左側血管の治療は、退院後の経過を見ておよそ1ヶ月後に実施するとのことであった。

朝食を済ませたあとは、看護師や薬剤師から退院後の生活や薬の服用について説明があり、午前10時に予定通り退院することができた。

10月3日 入院 心臓左血管カテーテル治療

前回から2ヶ月半が経った。再びカテーテル治療である。

予約患者が20人ほどいたので、治療室に入ったのは午後1時過ぎだった。

前の経験があったので心の余裕がある。前回と同じ行程で治療が開始され、治療時間も同様に90分ほど。

しかし、終了近くになってから胸が苦しくなり吐き気がしてきた。担当医師からは「時間が経てばよくなるから・・・」と言われたが症状がひどい。

治療ベッドに載せられたまま、病室まで運ばれて戻った。

3時間ほど経つと症状は徐々に回復。午後6時の夕食は何とか摂ることができた。

前回同様に、翌朝6時30分から理事長の説明があり10時に予定通り退院できた。

退院後の経過は順調で、歩いても胸が締めつけられるような症状は出なくなった。

翌年4月3日 治療後6ヶ月の検診

前年10月の治療から6ヶ月が経ち、病院の規定により心臓血管全体の精密検査を受けることになった。

結果は、この半年間これといった症状もなかったので予想外だったのだが、心臓左血管のステント留置箇所の上側に新たな狭窄が見つかった。

4月14日 入院 カテーテル検査と治療

「2度あることは3度ある」・・・3度目の治療となった。

午後2時頃から検査と治療に入ったが、途中で胸が苦しくなったり吐き気がするものが何度かあり大変であった。治療時間も3時間を超え、終了したのは午後5時。

治療は成功し、翌日午前10時に予定通り退院することができた。

まとめ

心臓血管のカテーテル治療はそれなりに大変であった。

しかし、治療中の痛みがほとんどなく、また1泊2日の入院で治療ができる。

特に症状がなくても、安心のためぜひ心臓血管の精密検査を受けることをお勧めしたい。



[註]

カテーテル：手首などから、心臓までの血管の中を通す細いチューブ

バルーン治療：カテーテルの中にガイドワイヤーを通し、血管の狭窄部分でバルーン（風船）を膨らませ、そこにステントを留置する治療

ステント：血管の狭窄部分に挿入するメッシュ状の金属の筒



北海道民放クラブ

